

## 主な取組の達成状況

### 重点施策1 横浜らしい教育の推進

#### 横浜型小中一貫教育を推進し、授業力を向上

- 小中学校の連携を深め、学力向上と児童・生徒指導の充実を図る「横浜型小中一貫教育」を推進し、「横浜版学習指導要領」に基づいたカリキュラムを全小中学校で実施しました。
- また、全小中一貫教育推進ブロック（142ブロック）での合同授業研究会を達成目標より2年早く実施し、授業力の向上に取り組みました。
- さらに、小中一貫教育を推進するために「横浜市における小中一貫校の基本方針（中間まとめ）」を公表し、小中一貫校の設置拡充に向けて方向性を決めました。

#### 横浜らしい防災教育のあり方を示した「横浜市防災教育の指針」を策定

- 「東日本大震災」の教訓を生かした防災力向上のために、「自助」と「共助」の考え方を柱に、学校における実践的な防災教育の在り方を示す「横浜市防災教育の指針」を策定しました。

### 重点施策2 確かな学力の向上

#### 理科支援員の配置や小中高校が連携した取組により、「理科が好き」と答える子どもが増加 ※1

- 理数教育を推進するために、小学校での理科支援員の配置を目標の100校から150校の配置に増やし、観察や実験による学習指導を充実させました。
- また、横浜サイエンスフロンティア高校等と小中学校が連携し、実験や体験の機会をつくりました。
- その結果、「理科が好き」と答える子どもの割合は毎年増加しています。

H19	H20	H21	H22	H23	H24
69%	70%	71%	75%	77%	77%

※1 横浜市学力・学習状況調査で「理科の勉強が好きですか」に、「好き」「どちらかといえば、好き」と答えた割合。(小学6年生)

#### 「学校の授業は分かりやすい」と答える子どもが増加

- 「横浜市教育振興基本計画」の教育の質の向上の理念に基づいて、全小中一貫教育推進ブロックでの合同授業研究会の実施や、「授業力向上推進校」での研究成果の発信など、教員の授業力の向上に取り組み、達成指標である「学校の授業は分かりやすいと答えた子どもの割合」が増加しています。今後も「学力向上アクションプラン」に基づいた取組を全校で実施し、基本問題の正答率の向上に向けて取り組みます。

達成指標	策定時の値	直近の値	目標値（H26）
学校の授業は分かりやすいと答えた子どもの割合 ※2	65.8%（H21）	69.8%（H23）	70%以上
基本問題の正答率 ※3	63.9%（H21）	63.3%（H23）	70%以上

※2 横浜市学力・学習状況調査で「学校の授業は分かりやすいですか」に、「よく分かる」「だいたい分かる」と答えた割合。

※3 横浜市学力・学習状況調査の基本問題の正答率(正答率70%を想定している問題)。

### 重点施策3 豊かな心の育成

#### 一人ひとりに応じたきめ細かい教育を推進し、いじめ・不登校等へも対応

- 組織的、効果的に児童支援に取り組み、きめ細かい教育を推進する「児童支援専任教諭」を小学校（210校）に配置し、いじめや不登校等の問題行動の防止・早期解決に取り組みました。
- また、「いじめ解決一斉キャンペーン」として、児童生徒及び教職員等を対象にした全市一斉アンケート調査を実施し、各学校で、実態把握に基づいて解決に向けて迅速に対応しました。
- 子どもや保護者が支援を受ける機会増加のために学校へのカウンセラー派遣を充実させました。

#### 重点施策4 健やかな体の育成

##### 体力向上への取組を継続

○子どもの体力向上に向け「体力向上推進校」を指定し、平成24年度より全小中学校で「体力向上1校1実践運動」を実施しています。今後も目標達成に向け継続的に取り組んでいきます。

達成指標	策定時の値	直近の値	目標値 (H26)
昭和60年の水準を100とした体力 ※4	90.1 (H21)	89.5 (H23)	94.6

※4 「新体力テスト」のうち昭和60年と比較できる種目の記録を点数化したもの。

#### 重点施策5 特別なニーズに対応した教育の推進

##### 特別支援学校の教育環境を改善

○特別支援学校へのニーズに応えるために、新治特別支援学校を移転し若葉台特別支援学校として開校しました。また、特別支援学校のスクールバスを2コース分増車、計39コースにしました。

#### 重点施策13 教育環境の整備

##### 子どものより良い教育環境を整備

○学校空調設備の設置を当初予定の240校から265校に増やしました。

○通学距離の適正化及び仮設校舎の解消に向け、美しが丘西小学校を25年度から開校しました。

### 25年度に向けて

24年度も「横浜市教育振興基本計画」に基づいて様々な事業に取り組んできましたが、通知表の誤記載に関する対応など、組織運営のあり方を改めて考えさせられる事案がありました。児童生徒や保護者をはじめとする市民の皆さまからの信頼回復のために、学校と事務局がそれぞれの役割を改めて理解し、校長はより一層、主体的な学校運営を行い、事務局はそれを支援していきます。

25年度は「横浜市教育振興基本計画」の最終年度を控えた重要な一年であり、「横浜教育ビジョン」実現に向けて、学校と事務局が連携して横浜の教育の質の向上に取り組んでいきます。

24年度の主な事業・取組

【主な事業・取組】	【目標・取組内容】	【実施状況】
<b>目標1 「知」「徳」「体」「公」「開」で示す“横浜の子ども”を育みます</b>		
<b>重点施策1 横浜らしい教育の推進</b>		
<b>●横浜型小中一貫教育の推進</b>		
「横浜版学習指導要領」に基づくカリキュラムの実施	・全小中学校での小中一貫カリキュラムの実施 ・「授業改善ガイド・教材研究編(仮称)」を作成し、カリキュラムマネジメントを推進	予定どおり実施 ・「授業改善ガイド 教材研究・授業実践編」を発行
小中一貫教育推進ブロックにおける合同授業研究会の実施	・全ブロックでの実施に向け、小中一貫推進フォーラムを開催し、先進的取組を紹介	予定どおり実施 ・全142ブロックで実施
小中一貫教育校の設置拡充に向けた検討	・現設置校での成果と課題の整理 ・設置拡充に向けた諸条件の整理・検討	予定どおり実施 ・2校の市立一貫校の検証・他都市視察を実施 ・横浜市における小中一貫校の基本方針(中間まとめ)を公表
防災教育の推進	・防災教育の指針の作成	予定どおり実施
外国語が堪能な人材の配置	・中学校への常駐のAET配置(50校)	予定どおり実施
幼稚園・保育所と小学校の円滑な接続のためのスタートカリキュラムの実施	・全小学校で実施	予定どおり実施
<b>●豊かな体験を通じた学習の推進</b>		
年間を通じた授業時数の配当等の在り方検討 ・土曜日の活用及び長期休業日について(研究校における実践的研究など)	・小学校、中学校を研究校に指定し、土曜日の活用のあり方を研究、推進	予定どおり実施 ・「土曜日の活用研究協力校」による研究の実施(小学校24校、中学校3校) ・教育職員の週休日の振替を確保しやすい研修を入れない期間を設定
環境教育実践推進校の指定と情報発信の取組	・環境教育実践推進校12校(継続3校、新規9校累計44校)を指定 ・「こどもエコフォーラム」を開催し、情報発信	予定どおり実施
中学校における職業体験プログラム(職場体験、職業講話)の実施	・職業体験プログラムを140校(94%)で年2日以上実施	予定どおり実施 ・143校(95%)で年2日以上実施
小学校での外国人非常勤講師による国際理解教室の実施	・全小学校(345校)に外国人非常勤講師を配置	予定どおり実施
国際平和スピーチコンテストの実施	・全小中学校の参加 ・スピーチコンテストの市長賞受賞者4名を、ピースメッセンジャーとしてニューヨークへ派遣	予定どおり実施
<b>重点施策2 確かな学力の向上</b>		
<b>●「横浜市子ども学力向上プログラム」に基づく学力の向上</b>		
全小中学校、特別支援学校における年度ごとの「学力向上アクションプラン」策定及び各校の取組	・全小中学校及び特別支援学校で「学力向上アクションプラン」を策定し、各校で実施	予定どおり実施
授業力向上推進校の年度ごとの指定及び研究成果の発信・共有	・授業力向上推進校28校指定	予定どおり実施
「はまっ子学習ドリル・検定システム」の運用	・英語科の運用(7月)	予定どおり実施
小中一貫教育推進ブロックにおける合同授業研究会の実施【再掲】	・全ブロックでの実施に向け、小中一貫推進フォーラムを開催し、先進的取組を紹介	予定どおり実施【再掲】 ・全142ブロックで実施
<b>●言語力の育成</b>		
「言語活動サポートブック」の活用	・言語活動サポートブックを活用して、研修を実施	予定どおり実施
蔵書管理の電算化	・「学校図書館ネットワーク」の推進 126校	予定どおり実施 ・「学校図書館ネットワーク」の推進(125校)

【主な事業・取組】	【目標・取組内容】	【実施状況】
<b>●理数教育の推進</b>		
理科支援員の配置	・100校に配置	予定どおり実施 ・150校に配置
<b>●ICT活用能力と情報モラルの育成</b>		
教員のICT活用指導力を高めるための研修の実施	・教員のICT活用指導力78% ・夏季・派遣研修の実施、校内研修の支援 ・指導事例等の情報発信	予定どおり実施 ・教員のICT活用指導力77% (速報値)
<b>重点施策3 豊かな心の育成</b>		
<b>●『豊かな心の育成』推進プログラムの策定と取組の推進</b>		
各校における『豊かな心の育成』推進プランの作成及び各校の取組	・全小中学校及び特別支援学校で作成	予定どおり実施
『豊かな心の育成』推進プログラム副読本作成	・副読本作成(3月)	予定どおり実施
<b>●道徳教育の推進</b>		
道徳教育推進教師に対する研修の実施	・年3回の「道徳教育推進教師研修会」を実施	予定どおり実施
<b>●人権教育の推進</b>		
人権教育のための全体計画の作成	・全市立学校で作成	予定どおり実施
<b>●いじめや不登校などへの対応と教育相談体制の充実</b>		
児童支援専任教諭の配置	・小学校210校に配置	予定どおり実施
「登校支援アプローチプラン」の作成、又は不登校の予防的な取組の実施	・「登校支援アプローチプラン」の作成、又は不登校の予防的な取組を全小中学校で実施	予定どおり実施
学校へのカウンセラー派遣の充実	・学校カウンセラーの増員(5名増員・計39名)とカウンセラー配置の工夫により、小学校へ1～2週間に1回程度派遣 (学校カウンセラーの増員により、児童生徒・教員・保護者の相談機会が増加)	予定どおり実施
<b>重点施策4 健やかな体の育成</b>		
<b>●「体力アップよこはま2020プラン」に基づく体力づくり</b>		
「体力向上1校1実践運動」の実施	・全小中学校で実施	予定どおり実施
教員の武道に関する指導力向上	・武道安全対策委員会開催(4回) ・武道安全悉皆研修の実施 (対象:全中学校の校長及び全保健体育科教員)	予定どおり実施 ・全中学校の、校長および保健体育科教員を対象とした理論研修と、保健体育科教員向けの実技研修を2回実施
<b>●食育の推進などによる健康な体づくり</b>		
中学校における昼食のあり方検討	・調査協力校を指定し、複数の方式(予定)をモデル的に実施	予定どおり実施 ・調査協力校(7校)で、複数の方式をモデル的に実施
<b>重点施策5 特別なニーズに対応した教育の推進</b>		
<b>●特別支援教育の推進</b>		
一般学級に在籍する特別な支援を必要とする児童生徒の「個別の指導計画」の作成	・「個別の指導計画」の作成率85%(3月)	予定どおり実施
自閉症理解と適切な指導・支援を促進するための取組	・「自閉症教育 理解・啓発パンフレット」を活用した校内研修の実施(全校)	・研修についての説明会を行い、全校が研修計画書を作成(25年度までの2か年で研修実施)
	・世界自閉症啓発デーin横浜の開催(3月)	予定どおり実施
一般学級に在籍する配慮が必要な児童への支援方策の検討	・研究協力校1校を指定し、一般学級における授業づくりのための実践検証計画を策定	予定どおり実施

【主な事業・取組】	【目標・取組内容】	【実施状況】
新治特別支援学校の移転整備及び知的高等部の設置	<ul style="list-style-type: none"> <li>・工事竣工(12月)</li> <li>・移転(1月)</li> <li>・知的障害高等部開校に向けた準備(3月)</li> </ul>	予定どおり実施 ・若葉台特別支援学校(横浜わかば学園)開校(1月)
中村特別支援学校の再整備	<ul style="list-style-type: none"> <li>・改修(スロープ等)の設計(3月)</li> </ul>	予定どおり実施
特別支援学校のスクールバスの増車	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2コース分増車(計39コース)</li> </ul>	予定どおり実施
通級指導教室の再編・整備	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中学校1教室改修整備(3月)</li> <li>・小学校2教室設計(3月)</li> <li>累計32教室(設計含む)</li> </ul>	予定どおり実施 (中学校1教室は代替教室で開室)
<b>●日本語指導が必要な児童生徒への支援</b>		
「日本語指導が必要な児童生徒の受入・指導マニュアル」の作成	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一部翻訳を除いた原稿の完成、冊子の配布及びHPにデータ掲載</li> </ul>	予定どおり実施
<b>重点施策6 魅力ある高校教育の推進</b>		
<b>●特色ある高校づくり</b>		
特色ある専門コースなどの設置 〔戸塚高校 音楽コース 横浜商業高校 スポーツマネジメント科 東高校 スポーツコース(仮称)〕	<戸塚高校・横浜商業高校、26年度設置> <ul style="list-style-type: none"> <li>・基本計画の策定</li> <li>・中学生向け説明会の開催</li> </ul> <東高校、27年度設置> <ul style="list-style-type: none"> <li>・基本方針の策定(3月)</li> </ul>	予定どおり実施  ・専門コース設置について、再検討することとしました。
横浜総合高校の移転整備と教育内容の見直し	<ul style="list-style-type: none"> <li>・旧県立大岡高校の改修工事等の実施</li> <li>・教育内容見直しの公表(6月)</li> </ul>	予定どおり実施
横浜サイエンスフロンティア高校における「スーパーサイエンスハイスクール」としての取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>・先端科学分野に携わる研究者の講演等の実施</li> <li>・横浜市立大学チャレンジプログラムによる特別入学枠進学者10名程度を選抜</li> <li>・青少年サイエンスセンター事業等の実施</li> </ul>	予定どおり実施 <ul style="list-style-type: none"> <li>・研究者を招いた講座を49回実施</li> <li>・特別入学枠進学者を5名選抜</li> <li>・青少年サイエンスセンター事業(プラネタリウムの上映会等)を13回実施</li> </ul>
<b>●選ばれる高校づくり</b>		
第三者による学校評価の活用	有識者による第三者評価 <ul style="list-style-type: none"> <li>・書類調査(全校)</li> <li>・訪問調査の実施(3校)</li> </ul>	予定どおり実施
<b>目標2 誇りや使命感に満ちた信頼される教職員を確保・育成します -尊敬される教師-</b>		
<b>重点施策7 優れた人材の確保</b>		
<b>●総合的な人材確保策の展開</b>		
選考方法の改善	<教員確保における取組> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教員採用試験説明会の開催(140回)(随時)</li> <li>・採用前懇談会の実施(1月)</li> <li>・学校見学会の開催(1月)</li> </ul> <試験における取組> <ul style="list-style-type: none"> <li>・インターネットによる申込の実施(4~5月)</li> <li>・福岡県で教員採用試験(一次)を実施(7月)</li> </ul>	予定どおり実施 ・教員採用試験は、募集約830人に対し応募は6,067人、応募倍率は7.3倍(前年度は6.3倍)
「よこはま教師塾」による教員の確保・養成	<ul style="list-style-type: none"> <li>・よこはま教師塾「アイ・カレッジ」を実施</li> </ul>	予定どおり実施
初任教員のサポート	<ul style="list-style-type: none"> <li>・校内方式で初任者研修を行う学校にサポートボランティア(学校管理職OB)を派遣(1か月程度)</li> </ul>	予定どおり実施
授業改善支援センターの利用促進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業力向上を支援するための「授業づくり講座」の講座内容や指導主事と支援員が連携した相談体制等の充実</li> </ul>	予定どおり実施 ・利用者延べ15,015人
<b>重点施策8 教師力の向上</b>		
<b>●教職員の資質能力の向上</b>		
大学との共同研究	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教員への意識調査の実施</li> </ul>	予定どおり実施
学校教育事務所での研修	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実践力を高め、ネットワークを広げるために、初任者研修や副校長研修などを学校教育事務所で実施</li> </ul>	予定どおり実施

【主な事業・取組】	【目標・取組内容】	【実施状況】
初任教員のサポート【再掲】	・校内方式で初任者研修を行う学校にサポートボランティア(学校管理職OB)を派遣(1か月程度)	予定どおり実施【再掲】
授業改善支援センターの利用促進【再掲】	・授業力向上を支援するための「授業づくり講座」の講座内容や指導主事と支援員が連携した相談体制等の充実	予定どおり実施【再掲】 ・利用者延べ15,015人
<b>●教職員の心の健康づくり</b>		
出張カウンセリングの実施	・120校で実施	予定どおり実施 ・121校で実施
<b>目標3 学校の組織力を高め、信頼される学校を目指します -信頼される学校-</b>		
<b>重点施策9 学校の組織力の向上</b>		
<b>●校長、副校長のマネジメント力の向上</b>		
「横浜市立学校管理職人材育成指針」に基づく管理職研修の充実	・副校長経験年数に応じた副校長研修の実施(通年)	予定どおり実施
	・不祥事防止研修の改善	予定どおり実施
次期「中期学校経営方針」の策定に向けた検討	・25年度の次期「中期学校経営方針」の策定に向けて、横浜教育ビジョンとの関連を考慮しながら、項目の内容を検討し決定	予定どおり実施
<b>●学校のチーム対応力の強化</b>		
小中学校をサポートするための非常勤講師の配置	・150校に配置	予定どおり実施 ・178校に配置
小中学校へのアシスタントティーチャーの派遣	・200人派遣	予定どおり実施 ・224人派遣
保健室登校や支援を必要とする児童生徒が在籍する学校への養護教諭有資格者の派遣	・40校に派遣 (派遣回数 4,200回)	予定どおり実施 ・41校に派遣
児童支援専任教諭の配置【再掲】	・小学校210校に配置	予定どおり実施【再掲】
<b>●学校評価の充実</b>		
学校評価の充実 (小中一貫教育推進ブロック内での相互評価の実施、第三者評価の試行、評価者の養成研修など、学校評価の充実・改善)	・実践研究校の取組を活用し、中期学校経営方針、学校評価報告書の改訂を含む「横浜市学校評価ガイド」<再改訂版>の策定と発信(25年3月) ・外部講師、学校長等を含む「学校評価ガイド」<再改訂版>策定会議の開催(10回)	予定どおり実施
<b>重点施策10 適確・迅速・きめ細かな学校支援</b>		
<b>●学校教育事務所による学校支援</b>		
指導主事による教育活動の支援	・「授業訪問」を重視した適確できめ細かな学校支援(通年)	予定どおり実施
学校課題解決支援チームの派遣	・派遣(通年)	予定どおり実施
学校教育事務所での研修【再掲】	・実践力を高め、ネットワークを広げるために、初任者研修や副校長研修などを学校教育事務所で開催	予定どおり実施【再掲】
<b>目標4 家庭・地域・学校が連携し、子どもの成長を支えます</b>		
<b>重点施策11 家庭教育への支援</b>		
<b>●親の学びの支援</b>		
「はまっ子家庭教育応援BOOK」の配布	・次年度新1年生の保護者に配布(平成25年2月)	予定どおり実施 ・家庭教育のヒントとして内容を見直し、平成25年度入学式に合わせて配布(33,000部)

【主な事業・取組】	【目標・取組内容】	【実施状況】
家庭における基本的な生活習慣の確立の働きかけに関する取組	・子ども青少年局など関係局との連携を強化	予定どおり実施 ・子ども青少年局と連携し、資料集を作成。入学説明会などに活用できるように、市内小学校、特別支援学校に周知及び配布
<b>●相談・サポート体制</b>		
学校へのカウンセラー派遣の充実【再掲】	・学校カウンセラーの増員(5名増員・計39名)とカウンセラー配置の工夫により、小学校へ1～2週間に1回程度派遣 (学校カウンセラーの増員により、児童生徒・教員・保護者の相談機会が増加)	予定どおり実施【再掲】
<b>重点施策12 地域と学校との連携</b>		
<b>●地域の教育力を生かした学校運営の支援</b>		
学校運営協議会の設置	・95校指定(25年4月1日)	予定どおり実施 ・98校指定(25年4月1日)
学校・地域コーディネーターの配置	・新規20校(計127校)に配置	予定どおり実施 ・新規25校(計132校)
地域交流室の設置	・新規25校(計301校)に設置	予定どおり実施
年間を通じた授業時数の配当等の在り方検討 土曜日の活用及び長期休業日について (研究校における実践的研究など)【再掲】	・小学校、中学校を研究校に指定し、土曜日の活用のあり方を研究、推進	予定どおり実施【再掲】 ・「土曜日の活用研究協力校」による研究の実施(小学校24校、中学校3校) ・教育職員の週休日の振替を確保しやすい研修を入れない期間を設定
<b>●地域における幼稚園・保育所・小学校の連携</b>		
「幼保小教育交流事業」「幼保小連携推進地区事業」それぞれの取組 【子ども青少年局との連携事業】	・区学校経営推進会議等の計画に幼保小連携を位置付け、子ども青少年局が教育委員会と連携して作成した「横浜版接続期カリキュラム」を活用し、幼児期の教育から小学校教育への連続性・一貫性にもとづく児童支援や学習支援・学校支援を行い、教育の充実を図る ・中期学校経営計画に基づき、地域の関係機関との連携に位置付く幼保小連携について子どもの育ちと学びにつながる学校支援を行う	予定どおり実施
<b>目標5 子どもの教育環境を整備するとともに、市民の学習活動を支援します</b>		
<b>重点施策13 教育環境の整備</b>		
<b>●より良い教育環境の整備</b>		
市立学校の耐震対策	・横浜市耐震改修促進計画に基づき耐震対策実施	予定どおり実施 ・24校28棟の耐震補強工事を実施
学校空調設備の設置	・240校の整備及び25年度設置校の設計	予定どおり実施 ・265校の設置完了 ・212校の設計完了
校務システムの導入	・中学校校務システム導入 ・小学校校務システム運用	予定どおり実施
学校栄養職員未配置校への栄養士有資格者(アルバイト)の配置	・48校に配置	予定どおり実施
学校給食用食材の放射線測定	・毎日1校の給食で使用する食材の検査を実施	予定どおり実施

【主な事業・取組】	【目標・取組内容】	【実施状況】
<b>●通学区域及び学校規模の適正化</b>		
学校統合を視野に入れた小規模校対策の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本年度対象校について保護者説明会の実施(5～6月)</li> <li>検討委員会を対象地域ごとに設置(6～7月)</li> <li>・23年度対象校については、25年度開校に向けた準備事務の実施(3校予定)</li> </ul>	予定どおり実施
過大規模化や教室不足の解消	<ul style="list-style-type: none"> <li>・美しが丘西小学校の25年度開校</li> </ul>	予定どおり実施 ・25年度の開校に向けた準備を実施
<b>重点施策14 市民の学習活動の支援</b>		
<b>●図書館サービスの充実</b>		
交通拠点での図書サービス機能強化事業の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・駅における図書館サービス機能の検討及びモデル実施に向けた調査・計画の検討</li> </ul>	予定どおり実施 ・駅における図書館サービス機能の検討及び整備計画検討に向けた基本計画調査を実施
港北図書館の耐震・再整備の検討・実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>・港北図書館の耐震・再整備工事の実施設計</li> </ul>	予定どおり実施
<b>●横浜の歴史に関する学習の場の充実</b>		
横浜開港資料館の収蔵資料の保管・展示方法の改善	<ul style="list-style-type: none"> <li>・横浜市文化財施設のあり方検討委員会の提言を踏まえ、改善の方向性を検討</li> </ul>	予定どおり実施
<b>●「武家の古都・鎌倉」世界遺産登録</b>		
世界遺産登録に向けた取組(4県市による登録準備、横浜市による史跡周辺整備)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・世界遺産登録の諮問機関(イコモス)の現地調査への的確な対応(夏から秋)</li> </ul>	予定どおり実施